

平成16年度新加入メンバーより一言

■ 乳井 千尋

入庁以来大半は平野（出納局・出納事務所等）勤務で、山（ダム建設事務所）へは2回行きましたが、海も農林水産部も、青森より東の地での勤務も、今回が初めてです。

今までの経験を生かして、皆様のお役に立てればと思っていますので、よろしくお願ひします。

■ 鹿内 長一

農林水産部一筋ですが、最初は農業、次ぎは林業の仕事を手伝ってきました。4月ついに水産業の仕事の手伝をすることになりました。研究所の濃いキャラ・薄いキャラの皆さんに囲まれ、楽しくお水の仕事をしています。よろしくお願ひします。

■ 高坂 祐樹

浅海環境部の貝毒関係の担当となりました。初めての勤務地で戸惑いもありますが、心機一転がんばっていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

■ 工藤 敏博

増養殖研究所は3度目、魚類部は2度目の勤務となりますが、19年ぶりということもあって、以前と比べて魚の飼育方法も変わっており、まるで浦島太郎になった気分です。

今後は飼育技術の向上に努め、本県の漁業振興のため努力したいと思いますので、よろしくお願ひします。

■ 菊谷 尚久

日本海から暖流にのって初めてこの地にやってきました。まだまだかわいいマダラ・ウスメバルちゃんたちは立派な大人に成長してくれるかどうか？心配の毎日です。

■ 小笠原敏男

初めての勤務地です。山（林業試験場）から海への業務ですが、よろしくお願ひします。魚類関係の業務は初めてではないのですが、新鮮な気持ちで頑張りたいと思います。

■ 横山 勝幸

3月31日付けで定年退職いたしました。再任用（ハーフタイム）職員として魚類部にお世話になることになりました。今年度一ヶ年のつもりですが、若い人の邪魔にならないように頑張つて務めたいと思います。

■ 長根 幸人

県職員として採用されて以来、初めての研究職に就くことになり、磯根資源部に配属となりました。

昨年まで普及業務等において、県南地方の磯根資源の生産性の向上、衛生管理等に力を入れて参りましたが、これからは、生物に着眼点を置きながら研究者としての目を肥やし、漁業者が理解、活用できる磯根資源の管理手法等を見出していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。